

9 みんなで取組む景観づくり

9 みんなで取組む景観づくり

01 戸建住宅の色彩の考え方

区内の戸建住宅等の小規模な建築物も多く、大小様々な規模の建築物等が連なり板橋区の色彩景観が形成されています。戸建住宅の色彩も地域の景観を形成する重要な色彩のため、一般地域において、戸建住宅の新增築または塗り替えを行う場合は、周辺のまち並みの色彩を参考に、年月を経ても飽きのこない色彩を選択します。

現況の色彩景観の特徴

戸建住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・暖色系の穏やかな色彩が基調となり、住宅地らしい暖かくやすらぎが感じられる色彩景観が形成されています。 ・一方で、ごく一部で塗り替えや更新の際に、原色などの派手な色彩が使用され、周辺景観に対して違和感を感じさせる要素となっています。
-------------	---

戸建住宅における色彩の配慮事項

- ・周辺の街並みから突出する鮮やかな色彩や対比の強い配色を避け、暖かさが感じられる暖色系の低彩度色を基本とします。
- ・屋根色は外壁との調和に配慮し、暖色系色相の低彩度色を基本とします。
- ・太陽光発電パネルなどを設置する場合は、屋根面との調和に配慮し、違和感のないように収めます。



暖かくやすらぎが感じられる住宅地



豊かな植栽と調和した色彩の戸建住宅

外壁基本色の推奨する色彩の例

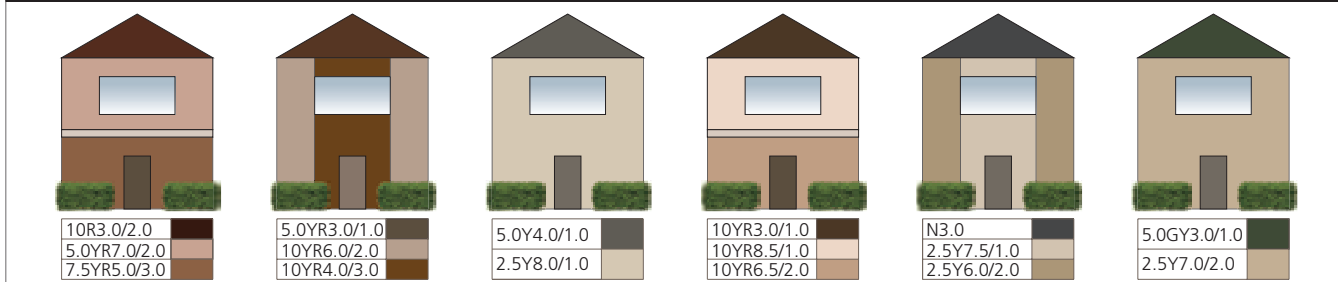
10YR8.5/1.0 [19-85B]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	10YR7.5/1.0 [19-75B]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	5.0Y8.0/0.5 [25-80A]
5.0YR7.0/2.0 [15-70D]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.5/1.0 [22-75B]	5.0Y7.5/1.0 [25-75B]
10R5.0/3.0 [09-50F]	5.0YR6.0/3.0 [15-60F]	7.5YR5.0/3.0 [17-50F]	10YR5.0/3.0 [19-50F]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	2.5Y5.0/2.0 [22-50D]
2.5YR3.0/4.0 [12-30H]	5.0YR4.0/2.0 [15-40D]	7.5YR4.0/4.0 [17-40H]	10YR3.0/2.0 [19-30D]	10YR4.0/3.0 [19-40F]	2.5Y5.0/3.0 [22-50F]

屋根の推奨する色彩の例

5.0YR3.0/2.0 [15-30D]	5.0Y3.0/1.0 [25-30B]	N4.0 [N-40]
10YR3.0/1.0 [19-30B]	5.0Y4.0/1.0 [25-40B]	N3.5 [N-35]
10YR3.0/2.0 [19-30D]	5.0GY3.0/1.0 [35-30B]	N3.0 [N-30]
10R3.0/2.0 [09-30D]	2.5Y4.0/1.0 [22-40B]	5.0G3.0/1.0 [45-30B]

上段はマンセル値、下段 [] は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。

推奨する色彩を用いた配色の例



02 身近な風景の色彩と工夫

美しい景観は、大規模建築物の所有者や設計者など、一部の限られた人の責任によってもたらされるものではなく、街に暮らす人々の日々の暮らしの積み重ねの中から生まれるものです。このように考えると、すべての区民の皆さんがいい色、いい風景づくりの主演です。ここでは、暮らしの中にある身近な色彩要素とその工夫を紹介します。

建築物に付帯する設備機器等…目立たせないことが基本です

建築物に付帯する設備機器類やごみ置場、柵などの色彩は、あまり目立たせたくない要素です。まずは、配置などの工夫により見えにくくすることが大切ですが、色彩については設置場所の背景にあわせたり、生きた植物の色彩が際だつよう落ち着いた暖色系低彩度色を基本に選定します。



■設備機器を工夫した事例



■建築物と同様に暖色系の低彩度色を用いた駐輪場



■駐車場の色彩を建物と共通性のある色彩とした事例

庭や外構等…主役の緑が映える色彩を用品

大規模建築物の外構は街並みと直接接し、人々の目線に近い位置に存在することから、建築物等の基調色以上に重要な色彩要素となる場合もあります。周辺建築物の外構や敷地が接する道路の仕上げなどとの連続性に考慮しつつ、大地を彷彿とさせる落ち着いた色を基本に選定します。

また、庭木の緑を生かすためには人工物の色彩が主張するのではなく、幹の色や土の色に倣い、葉や花を引き立てる落ち着いた色彩を選定することが大切です。



■植栽の緑が映える落ち着いた色彩のフェンス



■大地を彷彿とさせるエントランス周りの落ち着いた舗装色

身近な暮らしの要素…細かな配慮が街の魅力を高めます

店先の自動販売機や小さな看板も風景の一部です。また、工事現場等の仮設物やブルーシート、ポリバケツ等も街ゆく人の目に入ってきます。このような要素は赤や青などの派手な色彩が定番化していますが、近年では目に優しい落ち着いた色彩のものも見られるようになってきています。



■お花見のブルーシートを茶色にしたCGシミュレーション



CGによる色彩シミュレーション



■自動販売機を工夫した事例